



2020 Matthiasson Cabernet Sauvignon Napa Valley

マサイアソン カベルネ・ソーヴィニヨン
ナパ・ヴァレー

Winemaking

このカベルネ・ソーヴィニヨンは、ボルドーの様にその他ボルドー品種をブレンドして造られます。ワインの複雑性とバランスの良さは6つの畑のブドウをブレンドすることで生まれます。クームスヴィルは骨格と黒果実を、ラザフォードは旨味と鮮明な果実とカベルネらしさを、オーク・ノールは柔らかくソフトな果実味をワインに与えます。「古き良きナパのカベルネ」をイメージして造られるワインで、長期熟成にも耐えられます。

2020年は山火事に影響された年でしたが、このワインに使われる畑は発生地南にあり、当時は北東向きの風が吹いていたこともあり、ブドウは影響を受けませんでした。

ワインは小さな容器を使い低温で発酵させ、一日二回のポンプオーバーを行いました。過度の抽出を避け、果実のフレッシュさとテンションを感じるアロマをワインに残すことを優先しています。発酵はとてもゆっくりと進み、完了まで2週間かかりました。辛口まで発酵を終えたワインをプレスし、ML発酵後にブレンド。その後フレンチオーク樽（新樽20%以下）で20か月間熟成させました。

Vineyard

以下は構成されている6つの畑のうちの4つの自社畑で、いずれもCCOF (California Certified Organic Farming) の認証を受けています。

デッド・フレッド・ヴィンヤード (クームスヴィル)

岩がゴロゴロした火山性の土壌、南西向き、日中の日差しをたっぷり浴び、夜間はとても涼しい畑。2012年から契約・栽培。

ヨーク・ヴィンヤード (ラザフォード)

砂利質沖積土壌を持つラザフォードのど真ん中にある畑で、“ラザフォード・ダスト”を醸し出す。2013年から契約・栽培。

ヘレンズ・ゲート・ヴィンヤード (ラザフォード)

Arthur Berliner氏とMarian Lever氏の敷地、東向きの丘にある畑で、Whitehall Laneと同じ並び。2009年に植樹。

サーカ・ヴィンヤード (ラザフォード)

砂利を多く含むオーム質の畑。乾燥していて冷たいそよ風に影響される畑。ワインに骨格と果実感を与える。

Data

品種 95% Cabernet Sauvignon
4 % Petit Verdot
1% Cabernet Franc

pH 3.8

総酸度 5.77 g/L

Alc. 度数 13.5%

希望小売価格 16,000 円 (税別)

